

追加型投信／海外／不動産投信(リート)

信託期間 : 2007年6月8日 から 2027年9月15日 まで  
 決算日 : 毎月15日 (休業日の場合翌営業日)

基準日 : 2024年5月31日  
 回次コード : 4752

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

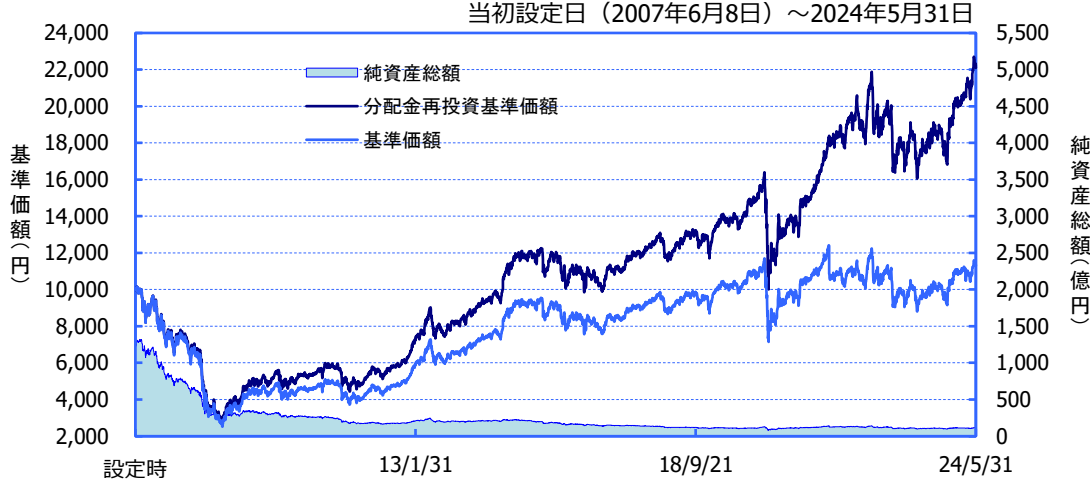
## 《基準価額・純資産の推移》

2024年5月31日現在

|       |          |
|-------|----------|
| 基準価額  | 11,376 円 |
| 純資産総額 | 113億円    |

### 期間別騰落率

| 期間   | ファンド     |
|------|----------|
| 1か月間 | +3.9 %   |
| 3か月間 | +9.5 %   |
| 6か月間 | +16.6 %  |
| 1年間  | +26.6 %  |
| 3年間  | +26.0 %  |
| 5年間  | +64.8 %  |
| 年初来  | +8.9 %   |
| 設定来  | +122.6 % |



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
 ※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。  
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。  
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

## 《分配の推移》

(1万口当たり、税引前)

| 決算期(年/月)      | 分配金    |
|---------------|--------|
| 第1~191期 合計:   | 5,090円 |
| 第192期 (23/06) | 10円    |
| 第193期 (23/07) | 10円    |
| 第194期 (23/08) | 10円    |
| 第195期 (23/09) | 10円    |
| 第196期 (23/10) | 10円    |
| 第197期 (23/11) | 10円    |
| 第198期 (23/12) | 30円    |
| 第199期 (24/01) | 10円    |
| 第200期 (24/02) | 10円    |
| 第201期 (24/03) | 610円   |
| 第202期 (24/04) | 10円    |
| 第203期 (24/05) | 10円    |

分配金合計額 設定来: 5,830円  
 直近12期: 740円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## 《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

### 資産別構成

| 資産             | 銘柄数 | 比率     |
|----------------|-----|--------|
| 外国リート          | 66  | 98.7%  |
| コール・ローン、その他    |     | 1.3%   |
| 合計             | 66  | 100.0% |
| リート ポートフォリオ特性値 |     |        |
| 配当利回り          |     | 4.0%   |

### 国・地域別構成

| 国・地域名    | 比率    |
|----------|-------|
| アメリカ     | 31.9% |
| オーストラリア  | 20.5% |
| イギリス     | 18.5% |
| フランス     | 9.3%  |
| シンガポール   | 7.9%  |
| ベルギー     | 4.8%  |
| 香港       | 1.8%  |
| スペイン     | 1.7%  |
| ニュージーランド | 1.1%  |
| その他      | 1.2%  |

### 通貨別構成

| 通貨          | 比率    |
|-------------|-------|
| 米ドル         | 33.9% |
| 豪ドル         | 20.5% |
| 英ポンド        | 18.5% |
| ユーロ         | 16.5% |
| シンガポール・ドル   | 6.5%  |
| 香港ドル        | 1.8%  |
| ニュージーランド・ドル | 1.1%  |
| 日本円         | 0.7%  |
| カナダ・ドル      | 0.6%  |

### リート 用途別構成

| 用途名       | 比率    |
|-----------|-------|
| 産業用       | 25.0% |
| 小売        | 18.5% |
| ダイバーシファイド | 14.9% |
| 住宅        | 12.2% |
| 倉庫        | 8.7%  |
| ヘルスケア     | 8.6%  |
| データセンター   | 6.1%  |
| 特殊        | 1.4%  |
| オフィススペース  | 1.2%  |
| その他       | 2.1%  |

※「配当利回り」は、コーペン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク(以下、C&S)によるもの(課税前)であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。  
 ※用途名は、原則としてS&P Global Property Index の分類によるものです。なお、優先リート(会社が発行する優先株に相当するリート)は、用途別の分類はしていません。  
 ■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用:

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

| 組入上位10銘柄                  |           |         | 合計38.1% |
|---------------------------|-----------|---------|---------|
| 銘柄名                       | 用途名       | 国・地域名   | 比率      |
| GOODMAN GROUP             | 産業用       | オーストラリア | 9.1%    |
| SEGRO PLC                 | 産業用       | イギリス    | 4.6%    |
| UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIELD | 小売        | フランス    | 3.8%    |
| WELLTOWER INC             | ヘルスケア     | アメリカ    | 3.5%    |
| PROLOGIS INC              | 産業用       | アメリカ    | 3.0%    |
| TRITAX BIG BOX REIT PLC   | 産業用       | イギリス    | 3.0%    |
| DIGITAL REALTY TRUST INC  | データセンター   | アメリカ    | 3.0%    |
| KLEPIERRE                 | 小売        | フランス    | 2.8%    |
| STOCKLAND                 | 住宅        | オーストラリア | 2.7%    |
| LONDONMETRIC PROPERTY PLC | ダイバーシファイド | イギリス    | 2.6%    |

※比率は、純資産総額に対するものです。

※用途名は、原則としてS&P Global Property Indexの分類によるものです。なお、優先リート(会社が発行する優先株に相当するリート)は、用途別の分類はしていません。

《基準価額の月次変動要因分解》 ※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

| 2024年5月末の基準価額 |       |      |      |       | 11,376 円 |
|---------------|-------|------|------|-------|----------|
| 2024年4月末の基準価額 |       |      |      |       | 10,961 円 |
| 変動額           |       |      |      |       | 415 円    |
| 国・地域名         | 価格要因  | 配当要因 | 為替要因 | 合計    |          |
| アメリカ          | 70 円  | 7 円  | 1 円  | 77 円  |          |
| カナダ           | ▲1 円  | 0 円  | ▲0 円 | ▲1 円  |          |
| イギリス          | 115 円 | 3 円  | 28 円 | 146 円 |          |
| ユーロ圏          | 73 円  | 9 円  | 19 円 | 101 円 |          |
| 香港            | 0 円   | 0 円  | 0 円  | 1 円   |          |
| シンガポール        | 5 円   | 2 円  | 5 円  | 12 円  |          |
| オーストラリア       | 87 円  | 0 円  | 25 円 | 112 円 |          |
| ニュージーランド      | ▲8 円  | 0 円  | 3 円  | ▲5 円  |          |
| 小計            | 339 円 | 21 円 | 82 円 | 442 円 |          |
| 分配金           |       |      |      |       | ▲10 円    |
| 運用管理費用、その他    |       |      |      |       | ▲17 円    |

※変動要因分解は、簡便法に基づく概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、その他には、設定・解約の影響などがあります。表示桁未満の四捨五入等の関係で各欄の数値の合計が変動額の数値と合わないことがあります。

## 【市場動向】

### 5月の海外リート市場は上昇

海外リート市場は上昇しました。懸念されていた米国の4月CPI（消費者物価指数）を無難に通過したことで金利上昇が一服し、海外リート市場もそれに連れて一時上昇しましたが、その後はグローバルでの金利上昇に押され、往って来いの展開となりました。

#### ＜北米＞

米国の用途別では、健全なファンダメンタルズが評価されたヘルスケアが堅調に推移しました。また、データセンターは、高い成長期待に加え、会計方針の妥当性に疑義のあった銘柄について、過去の決算の妥当性が監査委員会において確認されたことが好感され、同銘柄を中心に上昇しました。一方で、大手投資ファンドからの高値での物件取得が嫌気された銘柄を中心に、ホテル/リゾート/レジャーは下落しました。

#### ＜欧州＞

欧州地域は大きく上昇しました。インフレの鈍化やECB（欧州中央銀行）による早期利下げ期待が支援材料となりました。

#### ＜アジア・オセアニア＞

アジア・オセアニア地域はまちまちの展開となりました。オーストラリアでは、物流施設の堅調なファンダメンタルズへの評価に加え、データセンター事業からの成長も期待された産業用リートが上昇を主導しました。一方、香港は、中国の不動産刺激策への期待に左右され、大きく上下する展開となりました。

## 【ファンドの運用状況】

### 月間の動き

保有するリートの上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

### 運用のポイント

成長性やバリュエーションなどの観点から個別銘柄の売買を行いました。米国のデータセンターにおいて、主にファンダメンタルズの観点からウエート調整を行いました。

## 【今後の展望・運用方針】

### 今後の展望

リート市況に関しては、世界的に今後想定される利下げ局面が追い風です。急上昇するタイミングを正確に予測することは困難ですが、高水準の配当収益を得つつ、上昇のタイミングを待てるのが資産クラスとしてのリートの優位性であると考えています。

リートの業績に関しては需給が総じてタイトな環境が続き、賃料上昇により堅調に推移するとみています。また、健全な財務体質を活用した物件取得や、M&Aなどが活発化すると予想されることも、業績への追い風だと考えています。

### ＜北米＞

米国経済においては、金融引き締めや銀行の融資厳格化による景気減速は緩やかなものにとどまると予想しています。

### ＜欧州＞

インフレ鈍化や景気回復が見込まれ、リートにとって追い風となる環境だと判断しています。国・地域の相对比较では、バリュエーションがより魅力的で、ECB（欧州中央銀行）による利下げが先行する欧州を最も強気にみています。

### ＜アジア・オセアニア＞

オーストラリアとシンガポールについては、堅調な景気動向を見込んでおり、リートの業績への支援材料になるとみています。一方で、中国景気低迷の地域全体への影響を注視しています。

### 運用方針

成長性やバリュエーションなどの観点から魅力的な国・地域やセクター、銘柄に投資していく方針です。

### ＜北米＞

住宅のうち戸建住宅については、人口動態などを背景とした構造的な需要拡大に加え、ローン金利の高止まりや物件の高騰から良好な需給環境が続くと考えています。データセンターは、クラウド需要が構造的に増加傾向にあることに加え、生成AI（人工知能）の利用拡大も追い風となり、タイトな需給環境が続くと見込んでいます。小売セクター、特にショッピングモールに関しては、実店舗見直しの動きなどが業績への支援材料になると考えています。また、ヘルスケアについては、空室率が改善傾向にある高齢者住宅を主体としたリートをポジティブにみています。一方で、物件供給の増加が懸念される産業用や、在宅勤務や景気減速による需給悪化に加え、高い債務比率が懸念材料であるオフィスについては、慎重に選別していきます。

### ＜欧州＞

構造的な成長が期待でき、高い賃料決定力を持つ倉庫や産業用、保有不動産の質が高い大陸欧州の小売をポジティブにみています。一方、在宅勤務などによる影響が懸念されるオフィスへのエクスポージャーが高い銘柄については、慎重に選別していく方針です。

### ＜アジア・オセアニア＞

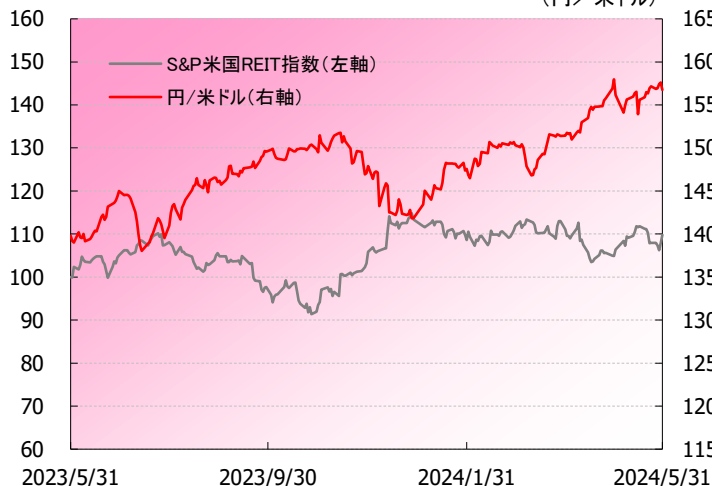
オーストラリアにおいては、電子商取引の拡大から恩恵を受ける産業用や慢性的な住宅不足の恩恵を受ける住宅関連銘柄などに、シンガポールでは、ファンダメンタルズが良好な病院などのヘルスケアに注目しています。香港では中国本土よりも香港へのエクスポージャーが高い小売を中心に投資していく方針です。

# 《参考》各国REIT指数と為替の動き

(2023年5月31日～2024年5月31日)

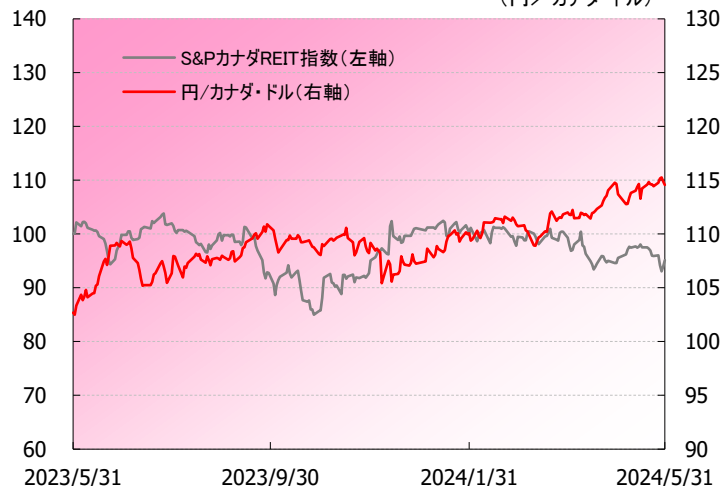
## 米国

(円/米ドル)



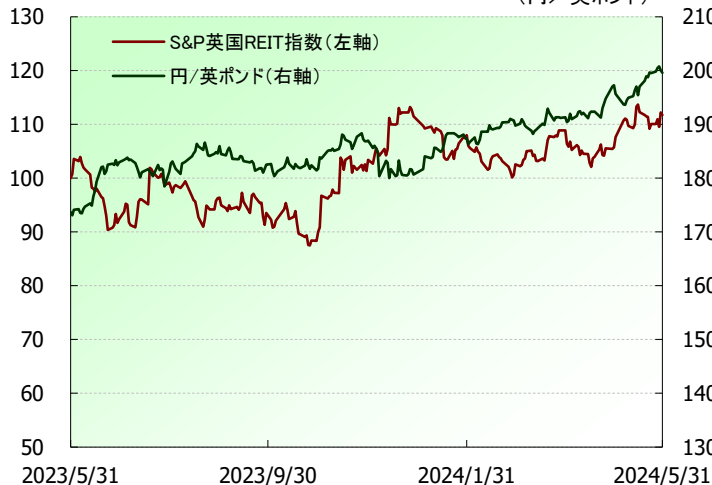
## カナダ

(円/カナダ・ドル)



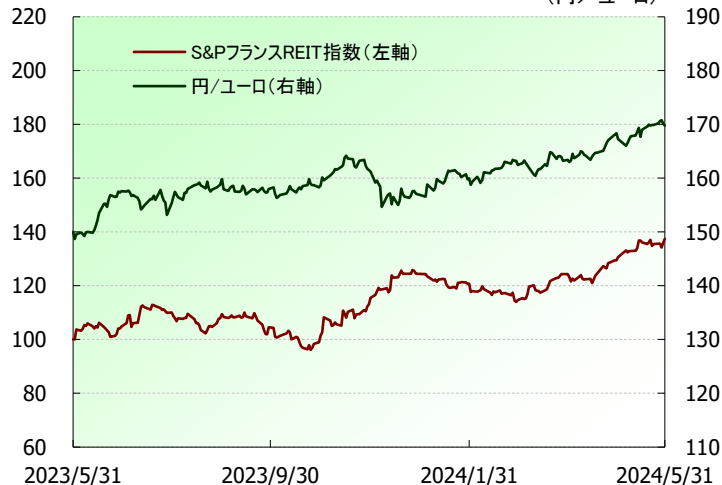
## イギリス

(円/英ポンド)



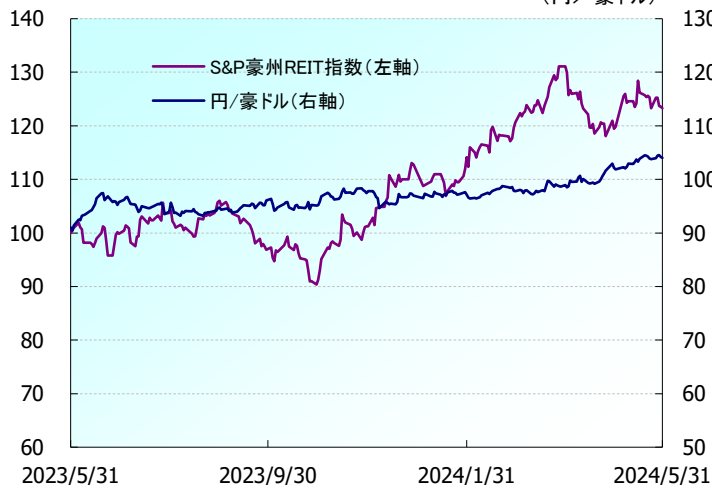
## フランス

(円/ユーロ)



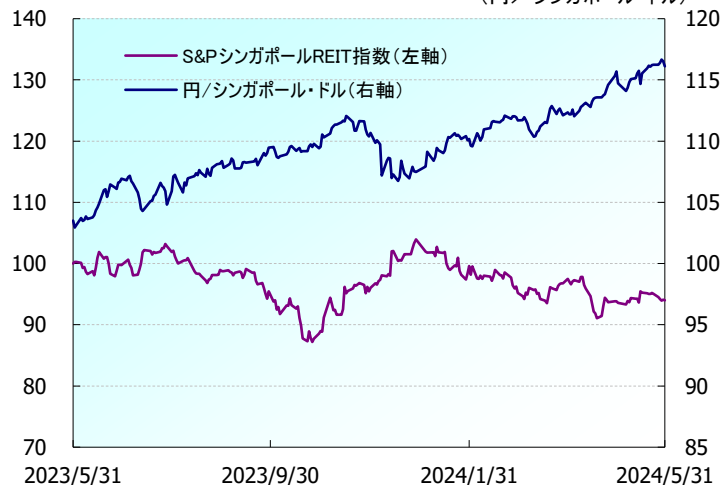
## オーストラリア

(円/豪ドル)



## シンガポール

(円/シンガポール・ドル)



(注) S&P米国REIT指数、S&PカナダREIT指数、S&P英国REIT指数、S&PフランスREIT指数、S&P豪州REIT指数、S&PシンガポールREIT指数(トータル・リターン、現地通貨ベース)は、各指数ともグラフの起点時を100として指数化。

※各指数は、S&P Dow Jones Indices LLCの登録商標です。

(出所)リフィニティブより大和アセットマネジメント作成

## 《ファンドの目的・特色》

### ファンドの目的

- ・海外のリート（不動産投資信託）に投資し、安定的な配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざします。

### ファンドの特色

- ・海外のリートに投資します。
- ・海外のリーートの運用は、コーペン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インクが行ないます。
- ・毎月 15 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

## 《投資リスク》

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

|                              |  |
|------------------------------|--|
| リーートの価格変動<br>(価格変動リスク・信用リスク) | リーートの価格は、不動産市況の変動、リーートの収益や財務内容の変動、リートに関する法制度の変更等の影響を受けます。組入リーートの市場価格が下落した場合、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。            |
| 為替変動リスク                      | 外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 |
| カントリー・リスク                    | 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となる場合があります。                  |
| その他                          | 解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。                           |

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

## 《ファンドの費用》

| 投資者が直接的に負担する費用      |  |   |         |         |
|---------------------|--|---|---------|---------|
|                     | 料率等                                      | 費用の内容   |         |         |
| 購入時手数料              | 販売会社が別に定める率<br>(上限) <u>3.3% (税抜3.0%)</u> | 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。                                    |         |         |
| 信託財産留保額             | ありません。                                   | —   |         |         |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 |  |   |         |         |
|                     | 料率等                                      | 費用の内容   |         |         |
| 運用管理費用<br>(信託報酬)    | <u>年率1.628%</u><br>( <u>税抜1.48%</u> )    | 運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。 |         |         |
| 委託会社                | 配分については、<br>下記参照                         | ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。                        |         |         |
| 販売会社                |  | 運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。                                |         |         |
| 受託会社                |  | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。  |         |         |
|                     | 〈運用管理費用の配分〉<br>(税抜) (注1)                 | 委託会社  | 販売会社    | 受託会社    |
|                     | 200億円未満の場合                               | 年率0.80%   | 年率0.60% | 年率0.08% |
|                     | 200億円以上<br>500億円未満の場合                    | 年率0.76%   | 年率0.65% | 年率0.07% |
|                     | 500億円以上<br>1,000億円未満の場合                  | 年率0.71%   | 年率0.71% | 年率0.06% |
|                     | 1,000億円以上の場合                             | 年率0.67%   | 年率0.76% | 年率0.05% |
| その他の費用・<br>手数料      | (注2)                                     | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。                     |         |         |

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

|                        |   |
|------------------------|---|
| 購入単位                   | 最低単位を 1 円単位または 1 口単位として販売会社が定める単位   |
| 購入価額                   | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万円当たり）  |
| 購入代金                   | 販売会社が定める期日までにお支払い下さい。   |
| 換金単位                   | 最低単位を 1 口単位として販売会社が定める単位  |
| 換金価額                   | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万円当たり）  |
| 換金代金                   | 原則として換金申込受付日から起算して 5 営業日目からお支払いします。   |
| 申込受付中止日                | ニューヨーク証券取引所またはオーストラリア証券取引所の休業日<br>（注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。   |
| 申込締切時間                 | 午後 3 時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）   |
| 換金制限                   | 信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。  |
| 購入・換金申込受付<br>の中止および取消し | 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、換金の申込みの受け付けを中止することがあります。   |
| 繰上償還                   | 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること（繰上償還）ができます。<br>・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合<br>・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき<br>・やむを得ない事情が発生したとき |
| 収益分配                   | 年 12 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行いません。<br>（注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。                                |
| 課税関係                   | 課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、NISA（少額投資非課税制度）の適用対象であり、2024 年 1 月 1 日以降は一定の要件を満たした場合に NISA の適用対象となります。<br>※税法が改正された場合等には変更される場合があります。 |



## 《収益分配金に関する留意事項》

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

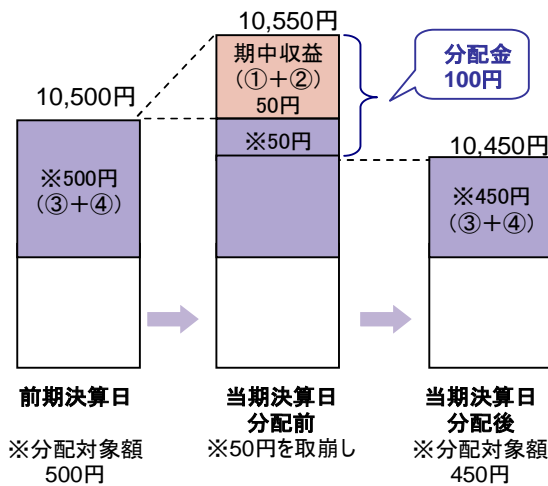
投資信託で分配金が支払われるイメージ



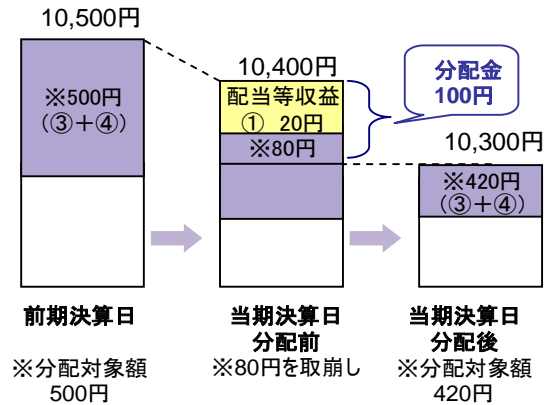
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算日から基準価額が上昇した場合



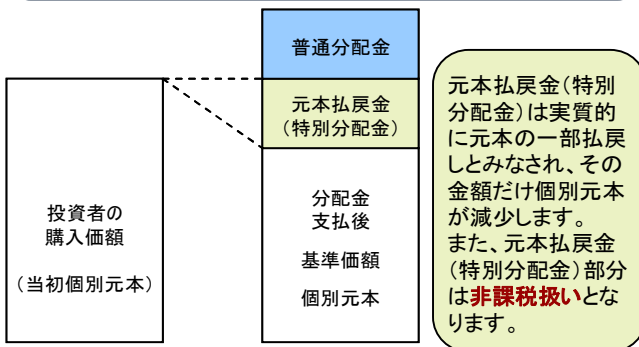
#### 前期決算日から基準価額が下落した場合



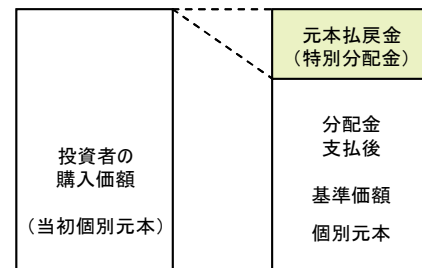
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

## ◀ 当資料のお取り扱いにおけるご注意 ▶

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和アセットマネジメント** フリーダイヤル 0120-106212（営業日の9:00～17:00）

当社ホームページ

▶ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ世界リート・ファンド（毎月分配型）

| 販売会社名（業態別、50音順）<br>（金融商品取引業者名） |          | 登録番号            | 加入協会    |                         |                         |                            |
|--------------------------------|----------|-----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
|                                |          |                 | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>金融先物<br>取引業協会 | 一般社団法人<br>日本投資<br>顧問業協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商<br>品取引業協会 |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社                  | 登録金融機関   | 関東財務局長(登金)第33号  | ○       | ○                       | ○                       |                            |
| 大和証券株式会社                       | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第108号 | ○       | ○                       | ○                       | ○                          |

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。